



戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

信州ニュース

戦争をさせない1000人委員会・信州 2015年8月12日 第34号

〒380-0838 長野市県町 532-3 県労働会館

電話 026 (234) 2116 FAX 026 (234) 0641 E-mail vi4h-kt@asahi-net.or.jp

HP <http://sensowosasenaishinshu.jimdo.com/>  https://twitter.com/1000_shinshu

 <https://www.facebook.com/sensousasenaishinshu>

8・30 全国 100 万人行動 地域 1000 人委員会は 全県でいっせい行動を

戦争法案に対する反対の声は日に日に高まり、国会包囲行動には数万人の市民が集まっています。学者や弁護士会も反対の姿勢を明確にし、また大学生や高校生の取り組みも伝えられています。

世論は戦争法案に反対する声が圧倒しています。安倍政権の支持率も急落し、不支持が増大しています。首相補佐官の礒崎陽輔衆議院議員は「法の安定性は必要ない」などと発言し、政権内部からも批判を浴びています。衆議院での議論と同じく、法案の違憲性や論理的崩壊はもはや言いつくろうことのできる範囲を超えています。普通に考えればもはや廃案しか選択はありません。

しかしながら、議会内の勢力で言えば、賛成派が過半数を超えていることには変わりません。9月27日の会期末まで予断を許さないなか、政府・与党を圧倒する「戦争法案廃案！」の声を、日本全国であげていくことが求められています。

全国組織の「戦争をさせない1000人委員会」も参加する「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」は、8月30日（日）に10万人国会包囲、全国100万人行動を提起しています。戦争をさせない1000人委員会・信州は、この全国一斉行動に、県内各地の地域1000人委員会が総がかりで参加し、さまざまな行動を展開されるように呼びかけます。

100万人の声で国会と安倍政権を包囲しましょう！

8月30日（日） 集会・パレード、学習会、街頭宣伝、署名活動、スタンディング…地域1000人委員会で企画を！

■「全国100万人行動」へ参加するため、地域1000人委員会で行動計画を立てよう！

- 地域1000人委員会は、8月30日（日）に市民が参加できる行動を企画してください。
- 行動内容は、集会・パレード、学習会、街頭宣伝など地域の实情に合わせて計画してください。
- 呼びかけ人や賛同者はもちろん、市民が参加できる企画内容を計画してください。

■「国会包囲10万人行動」

- 日 時 8月30日（日） 14時～16時
- 場 所 国会議事堂周辺

プラカードと「要請書」を持って 集まってください!!!

自民党県連、公明党県本部に抗議の要請行動を計画

8月30日 全国100万人行動に合わせて

8月30日(日) 13時 自民党県連前 歩道

同日 15時 公明党県本部前 歩道

◆個人名の抗議「要請書」(陳情)、団体名の「申入書」
を持参してください!

◆怒りのプラカードも用意して持ってきてましょう!
(例) 自民あて: 国民をバカにするな! なめるな!
公明あて: 「平和の党」はどこへ行った!

■自民・公明 長野県連絡先

| 政党名 | 郵便番号 | 住所 | 電話 | FAX |
|---------------|----------|------------|--------------|--------------|
| 自由民主党長野県支部連合会 | 380-0936 | 長野市中御所岡田1 | 026-227-5255 | 026-224-0978 |
| 公明党長野県本部 | 381-0034 | 長野市高田955-4 | 026-229-8005 | 026-229-8007 |

当日は、自民党長野県連・公明党長野県本部の事務所の前で街頭宣伝を実施して、各人が要請書(陳情書)を提出します。当日、事務所には誰もいないかもしれませんが、抗議の意思を示し要請書を置いていきます。みなさん、ぜひお集まりください。みんなで直接、抗議の意思を示しましょう。



自民党県連事務所(県庁南側)



公明党県本部事務所(長野駅東口から須坂方面へ。東通り越え、桜ヶ岡中南側)

地域1000人委員会のうごき

さく

1000人委員会・さくでは7月22日夕方、猛暑日のなか、しなの鉄道小諸駅頭にて、地域世論を盛り上げていく為の街頭宣伝行動を行いました。佐久地区労組会議、大塚議長の「戦後今ほど危機的状況に陥ったことはない。みんなで戦争法案に反対し、平和を維持していきましょう！」と、高校生や観光客にアピールしました。



飯田下伊那

安保関連法案の廃案を求める飯田下伊那大集会が8月9日午前10時より飯田市アイパークで開催された。朝から30度を超す猛暑の中約500名が参加し、戦争法案の廃案を求めるアピールを行った。集会は1000人委員会代表の下平秀弘弁



護士の挨拶に引き続き各政党や団体が決意表明、その後長崎原爆被災者に黙祷をささげ、集会宣言を採択、11時から市内をデモ行進し12時散会した。

大北

戦争をさせない1000人委員会・大北は、「8.10戦争をさせない大北集会」を8月10日に信濃大町駅前にある駅前公園において開催し、大町市内や北安曇郡内から約60人の市民が参加しました。集会には市内八坂地区の86歳の女性が参加し、戦争を二度と起こしてはならないことを行動で示しました。集会では、3人の呼びかけ人からアピールを行ったのちに、市内のメイン通りにおいてパレードを実施しました。パレード開始と同時に豪雨に見舞われたものの、参加者は呼びかけ人である田中欣一さんがスローガンに掲げた「道を誤るな日本」「目を覚ませ日本」などとシュプレヒコールを行い、戦争法案の廃案を市民に訴えました。今後の予定として、8月30日に同会場にて他団体と共催にて集会を開催する予定です。



すわ

戦争をさせない1000人委員会・すわは7

月26日、第1回「小さな勉強会」を諏訪市公民館で開きました。準備した会場が約50人でほぼ満席に。

藤瀬恭子さんの1時間トーク「安倍政権・集団的自衛権——沖縄から考える」の後、グループ討論。参加者を8～10人のグループに分け、記録者とまとめ役を各グループに作る。最初の人の発言について順番に思うことを語る仕組み。トークの後、会場に残った全員が発言機会を得られた。討論ではそれぞれの活動経験が語られた。沖縄で暮らした経験を若い女性が語った。地域のさまざまな動きについての発言が語られた。

どのグループでも討論が進んだ。リーダーの働きかけが成功した。初対面の市民たちが共通の目的に向かって真剣に語り合う。政治集会でこんな試みがこの地域で行われたことがこれまでにあっただろうか？終わってから、「良い会だったね」の声が交わされるのが聞こえた。

司会、1時間トーク、グループ討論リーダーがすべて女性だった。男性たちは裏方に回った。



「戦争をさせない1000人委員会・すわ」は26日、諏訪市公民館で安全保障関連法案などについて学ぶ勉強会を開いた。

参院審議前に 諏訪で勉強会

開いた。27日に参院で法案の審議が始まるのを前に、廃案に向けて何ができるかを意見交換し、発表しあった写真。共同代表の藤瀬恭子さん(70)と茅野市IIが講演。憲法を「国の最高法規」とする憲法98条に基づき、安保関連法案の違憲性を問う訴訟を起こすことや、国会に内閣不信任決議を求めるよう、市町村議会に呼び掛ける方法を勧めた。参加した45人は6班に分かれて意見交換。「子どもを戦争に行かせたくない」「国会前でデモをする」若者に期待したい」という声が出た。自民党の参院議員事務所にフアックスで意見を届ける、人気音楽家の集会を開いて若者の関心を高める、戦争の悲惨さを伝える映画の上映会を開く、といった案が出た。

上小

8月9日、上田市勤労者福祉センターで1000人

委員会・上小は戦後70年企画「太平洋戦争のころの私」を開きました。会場いっぱいの50人が参加し、用意した机・椅子が足りなくなる集まりでした。

西山智彦さんが主催者として「戦争の体験、記憶も薄れ広島・長崎に原子爆弾が投下された日を知らない若者も増えてきて

いる。そんな戦争をリアルに感じない若者の前に戦争が迫っている。過ちを繰り返させないために、生の戦争体験に学び、真摯に事実を耳を傾けることを大事にしていこう」とあいさつ。

講師の83歳の瀧塚照子さん(元東信病院院長夫人)が自らの戦争体験に基づいて講演。「子どもの頃は、スカートは履いてはいけないとモンペを着用し『国防色』、カーキ色の服で女性としてのおしゃれができない時代でした。本土に空襲が来るようになると、防空壕を掘り、隠れる生活になりました。女学校時代は、軍需工場で飛行機をつくることもやりました。飛行機の尾翼の翼をつくるのが女学校2年の担当でした。自分の言いたいことが言えない時代だった、というのが私の青春時代を振り返っての印象です。そんな時代に戻ることは絶対にダメです。平和が長く続くように戦争体験者として私のできることを精いっぱいやっていくつもりです」と訴えられた。



しおじり

「戦争法案」廃案に！塩尻市民大集会が8月8日、塩尻駅前東口広場で開かれ約100人参加しました。「戦争をさせない1000人委員会・しおじり」と「憲法九条を守る塩尻の会」が団体の枠を超えて開きました。集会前には、ジョン・レノンの「イマジン」(忌野清志郎訳)をみんなで合唱。16時から集会を行い、終了後に市街地をパレード、プラカードなどで市民にアピールしました。